

分会ニュース

分散特休の買い上げ出勤急増！！ 要員不足が現実！！

5月に入り大二両では分散特休を買い上げ、出勤させるという事態が急増しています。特休の買い上げは4月ではまったくなかったものが、5月では11名と急増しています。また、平成採用者に対して、出張扱いで行われていたアドバイザーを分散特休の日に行くなど会社自らが要員不足を証明しているのです。

J R 東海労大二両分会の『分会ニュース No.20』でも明らかにしたように、分散特休を含めた年間休日120日と年休20日を取得するためにはA. B. C担務合わせて毎日14名の人を休ませなくてはなりません。現在1日に分散特休が約7名なので年休は毎日約7名出さなくてはなりません。

さあ、みなさん！これだけ年休出ていますか？！

出ていません！これが結果です。明らかに要員不足です。

会社は「要員は確保している」と言いつつも特休買い上げ出勤でごまかそうとしています。

要員とは特休・公休120日と年休20日を取得できる人数です。その人数がいれば特休の買い上げなど発生しません。

会社は「金さえ出せば、文句は言うな！」とでも言いたいのでしょうか？！

会社は要員を増やすより特休買い上げ出勤させることでコストが安いと考えているのです。

このまま、休みを返上して休日出勤を続けていると今問題になっている「過労死」を引き起こすおそれがあるのです。

私達、J R 東海労大二両分会は「札びらで顔をはたかれる」こともなく特休・公休120日と年休20日を取得できる要員の確保のために闘っていきます。